

別添1 CEIS 2026年度 社会人会員向け交流・研究会

「持続可能な社会の達成に向けて - Beyond SDGs と Well-being・地域循環共生圏の展開」 概要

(一部調整中 2026.6.3)

回	日程	タイトル	内容	備考
第1回	7月8日(水)	第1部 インTRODakシヨN	① 交流・研究会の目的、進め方、②持続可能性、SDGsの意味、環境問題、ウェルビーイングとの関係、地域循環共生圏等の国内外の取組み、課題や今後の展望等の概観 (高橋正弘 行事委員会委員、大正大学副学長・教授、交流・研究会リーダー)	10分
		第2部 第6次環境基本計画によるウェルビーイングの推進とSDGs(仮題)	第6次環境基本計画(2024年)では、ウェルビーイング/高い生活の質の実現を最上位の目的としているが、たとえばその主要目標の一つである「地域循環共生圏」の創造は、ローカルSDGsの達成と特に環境面では不可分であること等、両者は密接な関係にある。このため、特に環境面について、環境基本計画の中でのSDGsの位置づけ・ウェルビーイングとの関係や、SDGsの達成に向けた具体的な取組の現状や課題等について論じ、検討する。この際特に、地球規模の主要課題への取組(地球温暖化対策計画、エネルギー基本計画、循環型社会形成推進基本計画等)との関係に注目する。	1時間30分 対面開催も検討中

			(黒部一隆 環境省大臣官房総合政策課環境計画室長 併任 環境教育推進室長) (調整中)	
第2回	7月31日(金) (午前)	SDGの概要、達成状況と課題、今後の展開(Beyond SDGs)等(仮題)	SDGs についての経緯や基本的考え方、各ゴールの概要や評価の指標を紹介。さらに国内的、世界的な取組の現状についての評価(自発的国家レビュー(VNR))やゴールの達成に向けて資金問題や地球温暖化対策等他の環境対策とのシナジー強化とトレードオフ解消等の課題について説明し、2030年以降のBeyond SDGsの視点も含めて、今後の対応について論じる。 (蟹江憲史 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)	対面参加可
第3回	9月28日(月) (調整中)	SDGsと地域循環共生圏(仮題)	ローカルSDGs等による持続可能な地域づくりは、国レベルでのSDGs達成のための重要な基礎の一つとなるため、日本政府はSDGs未来都市、地方創生SDGs金融の推進等を行っている。第5次環境基本計画で導入された地域循環共生圏も重要な施策の一つであり、環境省が中心となって推進している。このため、自治体、地元企業、住民等の参加による地方からのSDGs達成の取組状況や課題について紹介、検討する。特に地域循環共生圏の確立等による地域経済の活性化、魅力ある地域づくりを達成していくための政策や研究課題について(CEISの	対面開催も検討中

			研究提言も含めて) 紹介、議論する。また、諸外国の事例等についても参考とする。 (講師 高橋若菜 (宇都宮大学国際学部国際学科 教授))	
第4回	10月19日 (月) (調整中)	ステークホルダーによるSDGs等持続可能なへの取組特に産業界、企業の取組について(または、企業によるSDGs等持続可能な社会への取組)と全体とりまとめについて(仮題)	SDGsは、企業、住民、自治体等のステークホルダーによる取組が不可欠であり、中でも企業は、目標9(インフラ・産業イノベーション)、目標13(気候変動)の達成において重要な役割を果たしている。これらの分野における企業の取組状況について紹介するとともに、その課題や今後の展開について紹介、議論する。この際、企業の非財務情報の開示や環境金融等最近の状況についても考慮する。 (講師 小野田 真二 IGES サステナビリティ統合センター副ディレクター / シニアリサーチマネージャーによる講義(50分)、(及び参加者からの取組紹介(20分程度))、議論(20分))	・対面開催も検討中 ・最後に、フォローアップについて必要な場合は、短時間の議論を実施。
フォローアップ	11月~2027年 1月	フォローアップ	2027年春に第1~4回の講演、議論の概要を講師、出席者からのコメントを踏まえて報告書として作成し公表(具体的な役割分担、スケジュールについては、交流・研究会で検討)	昨年度の例(CEIS HP)参照

参考 1 基本的に Web 開催(17:30~19:00、ただし第2回は10:00~11:30)、参加者の希望等により対面開催も検討する。

参考 2 2026年度 社会人会員向け交流・研究会 リーダー: 高橋正弘 大正大学副学長・教授、サブリーダー: 西 麻衣子、日本大学教授、アドバイザー: 小谷幸司 日本大学教授

参考 3 交流・研究会概要については、ダイジェスト版で録画を作成し、ユーチューブ等を通じて配信する予定。

参考 4 参考図書

・環境白書 R7 年版

・持続可能な開発のための 2030 アジェンダ https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/000101402_2.pdf

・持続可能な開発目標報告 2025

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_report/sdgs_report_2025/

・第 3 回自発的国家レビュー(VNR) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/vnr/index2025.html>

・SDGs 実施指針 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/kaitei_2023_jp.pdf

・SDGs 進捗レポート 2023 ～GCNJ 会員企業・団体の取組現場から～ <https://www.iges.or.jp/jp/pub/sdgs-business-progress-2023-jp/ja>

・第 6 次環境基本計画 https://www.env.go.jp/council/02policy/41124_00012.html

・SDGs の基礎 事業構想大学院大学出版部(2018)

・蟹江 憲史 SDGs(持続可能な開発目標)(中公新書 2604) 2020/8/20

”・「地域循環共生圏の実現に向けた研究の推進

環境情報科学センターの提言」について 小谷 幸司・荒井 眞一(環境情報科学 51-2 2022)

https://www.jstage.jst.go.jp/article/eis/51/2/51_63/_pdf/-char/ja/”

”・「地域循環共生圏」の実現に向けた研究の推進 CEIS の提言 令和 4 年 2 月 18 日

https://www.ceis.or.jp/data/teigen2022/teigen_honbun.pdf”

・2025 年度の報告書「ネイチャーポジティブに向けての対応の推進」

<https://www.ceis.or.jp/2025CEISseminar.html>